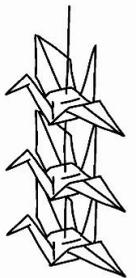


「伝える夏」

校長 青海 正

私は今年の夏、仕事で沖縄県（全国中学校体育大会 陸上競技選手権大会）と熊本県（全九州中学校長研究大会）を訪ねました。双方とも、灼熱の太陽の下、きれいな海とおいしい食べ物、そんな平和なイメージ通りの穏やかでとても景色のきれいなところでした。一方で沖縄県那覇市や鹿児島県奄美大島等では、犠牲者を悼む学童疎開船「対馬丸」の撃沈81年慰霊祭が営まれました。対馬丸事件は、1944（昭和19）年8月22日夜、太平洋戦争中に那覇から長崎へ疎開する学童らに乗せた「対馬丸」が、鹿児島県沖で米軍潜水艦の魚雷攻撃を受けて沈没し、800人近い子供を含む多くの人（約1,500人）が犠牲となった悲劇です。長編アニメーション映画『対馬丸 —さようなら沖縄—』を見たことがある人も多いと思います。終戦から80年、第二次世界大戦では、同じ国土に生まれた300万余の命が失われました。日本の行く末を案じ、家族の幸せを願いながら、戦場にたおれた方々。広島と長崎での原爆投下、各都市への空襲並びに艦砲射撃（かんぽうしゃげき）、沖縄での地上戦などにより犠牲となられた方々。戦後、遠い異郷（モンゴル抑留など）の地で亡くなられた方々。今日の日本の平和と繁栄は、戦没者の尊い命と、苦難の歴史の上に築かれたものです。先の大戦から、80年が経ちました。人間は、時の流れに過ぎし日のことを忘れ、興味も薄れてしまう。今では私たちのような戦争を知らない世代が大多数となりましたが、私たちは、知ること、考えること、そして行動し、伝えること。戦争の惨禍（さんか）を決して繰り返さない。そして、進む道を二度と間違えない。あの戦争の反省と教訓を深く胸に刻み、生きたくても生きられなかった多くの方々の分も命や時間を大切にし、歳月がいかに流れても、恒久平和への行動を貫かなければいけないのだと思います。ウクライナでは、18歳から24歳を対象にした若手志願兵の募集が始まったという新聞記事を見ました。未来の担い手も戦場へ、未だ争いが絶えない国があるのです。



9月の主な予定

1日(月) 始業式 職員会議	22日(月) 避難訓練(風水害) 評議委員会
8日(月) 合唱コンクール実行委員会	23日(火) 秋分の日
10日(水) 区陸上競技大会 学校安全衛生委員会	25日(木) 補習教室~26日(金)
11日(木) 生徒会選挙立会演説会	29日(月) 中間考査(数・国)給食なし
14日(日) 3年修学旅行~16日(火)	30日(火) 中間考査(社・英・理)給食あり 専門委員会(後期第1回目)
15日(月) 敬老の日	
19日(金) 専門委員会(前期最終)	

身体障がい理解教育（1年）

1年生は「ユニバーサル社会の一員としてよりよく生きる」ことをテーマとして、これまでユニバーサルデザインや様々な障がいを調べ学習してきました。

7月11日（金）大田区在住の障がいのある方々を講師にお招きし、「障がい理解体験学習」を行いました。5校時は、「肢体不自由障がい」、「視覚障がい」、「聴覚障がい」について具体的なお話を伺いました。6校時は、3つの障がいを実際に疑似体験をしたり、介助や支援の方法を体験したりしました。車いす体験、白杖（はくじょう）体験、手話や口読、空書き体験など真剣に学ぶことができました。

車いす体験



白杖体験



手話・口読・空書き体験

第1回進路説明会（3年）

7月4日（金）に3年生の生徒および保護者を対象に第1回進路説明会を行いました。今回の説明は、進路選択の心構えや都立・私立・その他の学校についての特色などを説明させていただきました。今後、各家庭において生徒と保護者が十分に話し合い、実際に高校等に足を運び、自分の目で見ることで進路選択を進めてほしいと思います。また、令和8年度都立入試（来年2月実施）から今まで全日制課程で実施してきた分割募集が廃止され、第一次募集で選抜されます。これまで分割募集を実施してきた学校として、本校卒業生がほぼ毎年進学する学校としては八潮、蒲田、田園調布が該当となります。10月16日（木）実施予定の第2回進路説明会では、更に詳しい説明をさせていただきます。

卒業生のお話を聞く会（3年）

7月10日（木）に3年生は卒業生3人をお迎えし、お話を聞きました。現在高校3年生の2人からは、高校での学校生活の様子や、進路決定について、勉強の方法などを教えていただきました。大学2年生の卒業生からは、高校に入ってから自分の将来進むべき道を見つけた話など、自身の経験に基づく貴重なお話を聞くことができました。卒業後の生活に向けて頑張るぞ！というモチベーションも高まったのではないのでしょうか。

この先の進路選択・学習の参考となる情報満載の時間となりました。



引き取り訓練

7月12日（土）に、震度5以上の地震を想定した避難訓練と、保護者引き取り訓練を実施しました。生徒は机の下に速やかに身を隠し、その後も教員の指示に従って行動することができました。避難訓練のあとは、保護者の皆さまにご協力いただき、引き渡しまでの流れを確認しました。保護者引き取りは、風水害の時や公共交通機関が止まった時など、下校が困難な状況で、生徒たちを安全に家庭へ帰すために欠かせない手順です。志茂田中学校では今年度初めて引き取り訓練を実施しました。今回はその流れを保護者の皆さまと共に確かめることができ、学校と家庭が一体となって生徒を守る力を育む良い機会となりました。ご協力ありがとうございました。

学校安全衛生委員会

「熱中症」について内科校医の横山先生からご講話いただきました。「熱中症」とは、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態です。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症する可能性があり、場合によっては命を落としてしまうこともあります。自力で水分補給ができなくなったらすでに危険な状態で救急搬送が必要になるケースが多いそうです。のどの渇きを感じていなくても、小まめに水分補給をしたり、暑さを感じなくても扇風機やエアコンを使って温度調整したりするなど、日ごろから心がけることが大切です。また、大きな血管が体表に近い脇や足の付け根、首筋を冷やすことも効果的です。掌を氷水に浸すことも対応策として有効であることを教えていただきました。

意見交流会

7月18日（金）に、大田区内の中学校生徒会役員が集まる「意見交流会」が開催され、本校からも役員が参加しました。今回のテーマは「理想の学校行事」。それぞれの学校の特色ある取組や工夫について意見を交わしました。他校の話を知ることで自校の行事を見直すきっかけとなり、「新しいことに挑戦したい!」と前向きな声もあり、今後の生徒会活動の発展が期待されます。



終業式・始業式

7月18日（金）の1学期の終業式、そして、9月1日（月）の始業式では式後に部活動などの表彰が行われ校長先生より賞状が手渡され、全校生徒・教職員より称賛されました。多くの部活動において3年生は引退となりました。

始業式では校長先生より全校生徒に向けて、日本各地で記録的な豪雨や台風により、大きな被害が出て「激甚（げきじん）災害」があったことや終戦から80年を迎えた日本ですが、現在、ウクライナでは戦争が長引く中、若者たちも徴兵されている問題、最後に校長先生自ら気を付けている「ことばの使い方」についての話がありました。

公費負担による実用英語技能検定

大田区では、第3学年の全生徒を対象に、公費負担による日本英語検定協会の「実用英語技能検定（英検）」が実施されます。今年度は10月3日（金）の午後に実施する予定です。3年生は全生徒が受検、1・2年生は希望者（有料）のみの受検となります。その他の生徒は給食後の下校となります。